World Football Connection

ドイツサッカー長期留学に関して

World Football Connection 株式会社

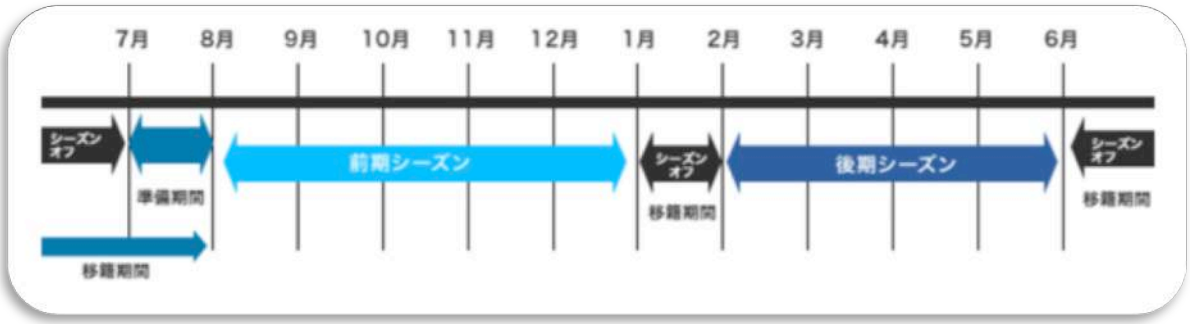
2013年６月２１日に近江孝行が代表取締役として会社を設立し、サポート業務を始める。代表自身も１０年の海外生活、海外でのサッカーキャリアを経験しており、その経験から選手にあったプログラムを適切に組む事ができます。プロになる事、レベルの高いリーグでやってみたいという事を思われてくる方が多いかとは思いますが、その為だけの留学だけではなく、セカンドキャリアの事も考えたプログラムを用意さして頂いています。またFIFAの代理人の資格を所持しているパートナーもおり、日本、ドイツ、各国にも幅広いコネクションをもっております。

ドイツの女子のリーグの仕組み

ドイツの女子のリーグは1部が１２チーム。２部リーグは国内を２つに分けて各リーグ１２チーム。その下は国内を５つに分けて行われる３部リーグがあります。

ドイツサッカーのシーズン

ドイツのサッカーシーズンは７月からプレーシーズンが始まり、８月からリーグ戦が行われます。一度１２月中旬から１月中旬まで冬の休みになります。１月中旬から２月中旬まで練習を行い、その後リーグが再開され６月に全日程が終了します。



予定練習参加チーム

練習参加できるチームは１部リーグ～３部リーグのチームが基本となります。

FFC Frankfurt　１軍が１部リーグ所属

２軍が２部リーグ所属

FFC Montabaur　１軍が２部リーグ所属

２軍が４部リーグ所属

TSV Schott Mainz　１軍が３部リーグ所属

２軍が５部リーグ所属

MSV Duisburg　１軍が１部リーグ所属

２軍が３部リーグ所属

VFL Wolfsburg　１軍が１部リーグ所属

２軍が2部リーグ所属

Eintacht Frankfur１軍が3部リーグ所属

２軍が5部リーグ所属

給与

一部リーグでも全てのチームがプロチームではありません。殆どチームが少しの金銭的、住居、物品など支給を受ける事があります。選手、チームによって異なります。

チームの練習環境

多くのチームは専用の天然芝、人工芝のグランド、ロッカーなどが設備されております。

海外で成功する為に

海外でサッカーをするにあたって大事な事はサッカーだけではありません。ドイツと日本のサッカーの違い、言語の違い、食生活の違い、文化の違い、全てに慣れる能力が非常に大事になってきます。いきなり上のリーグに行っても、日本との違いからサッカー以外で苦しむ事が多くなります。その為、まず半年、一年は慣れる為にも下積みをして頂いております。

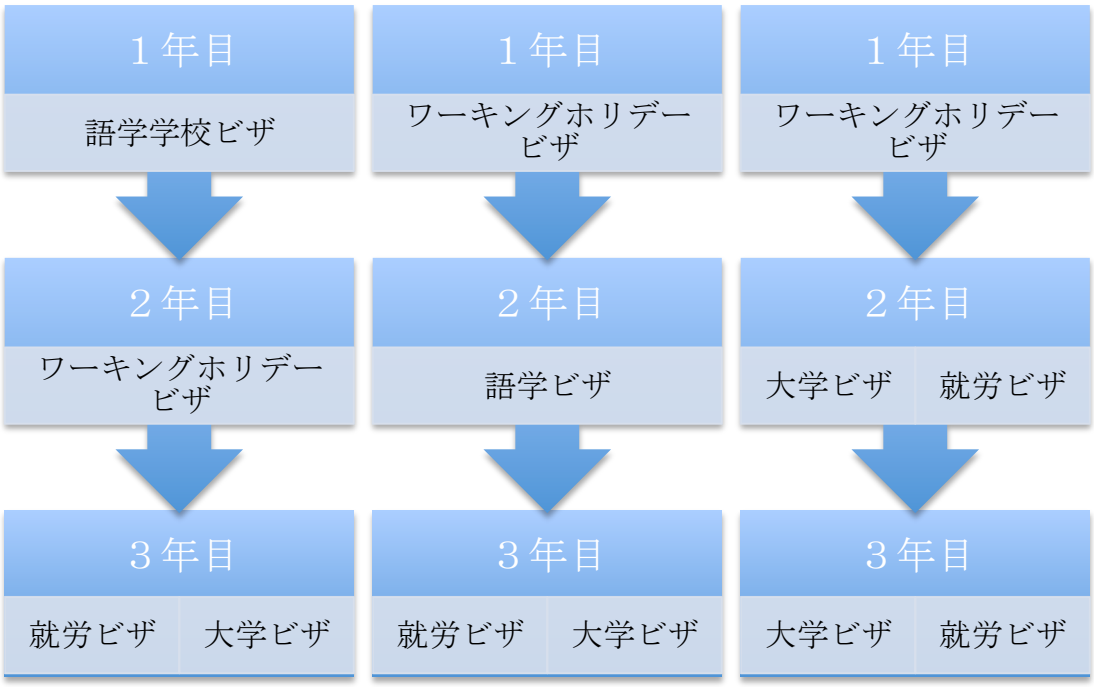
ドイツ滞在例：

弊社ではセカンドキャリアの事も考えて先の事を見据えて色々なプログラムを用意させて頂いております。

例：ドイツサッカーコーチライセンス所得

ドイツで就職

大学進学



＊日本食レストラン、ドイツの現地の会社に就職をした選手もいます。

ビザ：

トライアル期間中は観光ビザになります。その後は＊$_1$ワーキングホリデービザ、＊$_2$語学ビザもしくは就労ビザとなります。

＊$_1$ワーキング・ホリデー（Working Holiday）とは、二国間の協定に基づいて、青年（18歳～25歳または30歳）が異なった文化（相手国）の中で休暇を楽しみながら、その間の滞在資金を補うために一定の就労をすることを認める査証及び出入国管理上の特別な制度である。原則として各相手国ごとに一生に一度しか利用できない

＊$_2$語学学校ビザとは、語学学校に行く事が義務であり、就労する事は原則として認められいない。

トライアル時の宿泊先

　トライアルチームによって変わってきます。
チームが用意してくれる滞在先、シェアハウス、ホテル、ユースホステルとなります。基本は個人負担になります。

ドイツの滞在費用の例

- *語学学校費用、月２００ユーロ～３００ユーロ*

  （約２万７千円～）

- *家賃、月約３５０ユーロ～（シェアハウス）（約４万７千円）*
- *生活費、月５０ユーロ～２００ユーロ（約７千円～２万７千円）*
- *保険代、月６１ユーロ、７５ユーロ(約８千、１万円)*
- *飛行機代　往復１０万～１５万円*
- *定期代　月１００ユーロ（約１万３千円）*

現地コーディネーター

近江 孝行（オウミ タカユキ）1982年10月6日生まれ

高校時代には草津東高校の一員とし、３年連続選手権出場し、ベスト８、準優勝、近畿大会２連覇、２年連続インターハイ出場、高円宮杯３位、国体出場、日本高校選抜の一員としてヨーロッパ遠征も経験する。その後、近畿大学に進み、４回生の時には主将を務める。大学卒業後にドイツに渡り２年半現地のチームでプレーし、その後ニュージーランドにコーチ業の勉強の為にドイツのブレーメンなどで長年活躍したウイントン・ ルーファー氏が立ち上げたサッカースクールで働く。プレーヤーとしても2部リーグのオネハンガ･スポーツでプレーし、2009年には2部リーグ最優秀選手に選ばれる。その後もう一度選手業に専念する為にコーチ業を辞め、ニュ

ージーランド１部リーグのヤングハート・マナワツ、クラブワールドカップ常連のオークランドシティーFCでプレーする。その後拠点をシドニーに移し２部リーグのシドニーオリンピックとプロ契約を行い、同時にサッカースクールもシドニーで開校する。その後、インド１部リーグのエア・インディアとプロ契約をし、２０１２年に現役を引退した。

ミニング　カヨ

ドイツ人と日本人のハーフであり、ドイツ語、英語、日本語を話すマルチリンガルの彼女がドイツのサポートをします。